

テムを開発しています。これらの研究開発部門は、日々の営業活動やサービスを提供する中で得られたお客様のご意見やご要望などを反映させたシステムを、迅速かつ的確に開発・改善することで、セコムのオンライン・セキュリティシステムの品質向上に寄与しています。また、技術革新が急速に進展する中、研究開発部門は最新の技術動向を捉えて適正に評価し、最適な技術をいち早く活用することに努めています。セコムは、「技術力」が重要な経営資源のひとつと位置づけており、セキュリティ市場における競争優位を確実にするものとして、研究開発を重要視しています。

2つ目は「人材」です。全国4カ所にある研修センターで、新入社員はもちろんのこと、緊急対処員、営業員、管理担当者などが、専門知識やスキルとともに「セコムの理念」や安全のプロフェッショナルとしての行動規範を習得しています。そのような取り組みが強靱な組織を生み出し、セコムならではの高品質なサービスの提供を実現しています。

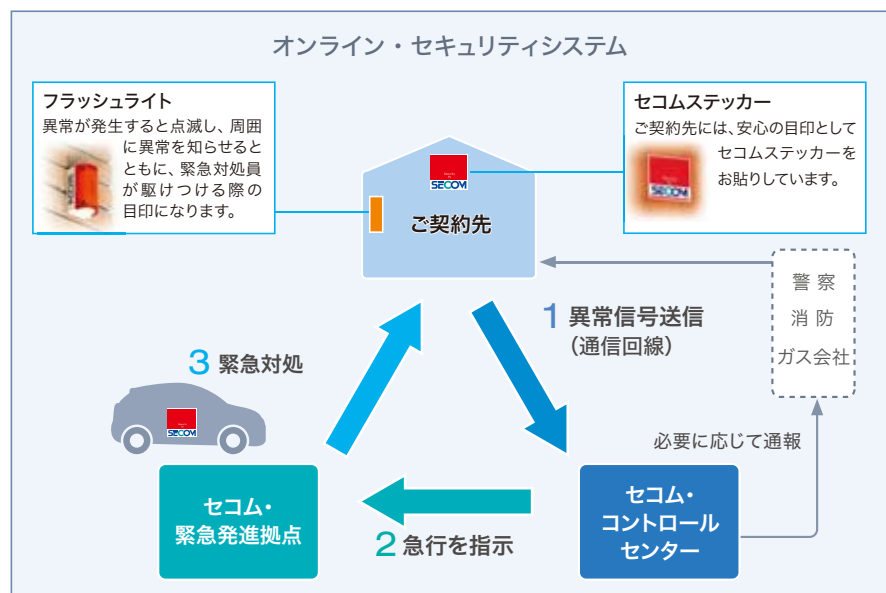
セコムのセキュリティサービスの特長

セコムのセキュリティサービスの主力はオンライン・セキュリティシステムです。その仕組みは、ご契約先にセンサーなどのセキュリティ機器を設置し、通信回線のお客様とセコムをつなぎ24時間365日セコムのコントロールセンターで管制員が監視し、ご契約先からの侵入・火災などの異常信号を受信すると、最寄りの緊急発進拠点で待機している緊急対処員に駆けつけるように指示し、必要に応じて警察や消防に通報します。

セコムのオンライン・セキュリティシステムは、研究開発から機器の製造、販売、セ

キュリティプランニング、設置工事、24時間監視、緊急対処、メンテナンスまで、一貫して提供できる体制が特長です。このすべてにセコムが責任を持つことで、信頼性のある高品質なセキュリティサービスの提供を実現しています。

セコムのオンライン・セキュリティシステムは、強固な3つの経営基盤から成り立っています。1つ目は「技術力」です。セコムでは、セコムIS研究所が基礎技術の研究に取り組み、セコム開発センターがその基礎技術を活用して新たなセキュリティシス



3つ目は「オペレーション・コントロール体制」です。セコムが長年培ったノウハウと、業界最多となる全国約2,800カ所の緊急対処拠点、豊富な経験による管制員の素早い判断や訓練された緊急対処員の初動の速さが、迅速な緊急対処を可能にしています。

主な取り組み

■事業所向けセキュリティサービス

セコムは、事業所向けに豊富なラインアップのオンライン・セキュリティシステムを用意して、業界や業種で異なる多様なニーズに的確に 대응しています。オンライン画像監視システム「セコムAX」や、防犯・火災監視機能と出入管理機能を一体化してご契約先の勤怠管理を省力化する「セコムLX」、防犯・火災監視機能と設備制御機能を一体化した「セコムFX」といった付加価値の高いオンライン・セキュリティシステムを中心に、当期も販売が順調に推移しました。

現在、機能別に製品化されていたセキュリティシステムをひとつのシステムに統合し、お客様のさまざまなニーズに応じてユニットで提供できる新たなセキュリティシステムの開発・提供を進めています。

ファシリティマネジメントなどへの提案力を強化

●ファシリティマネジメントにおける省人化

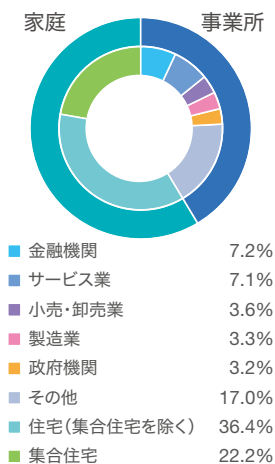
近年、労働人口の減少や超高齢社会などによる人手不足や人件費の高騰で、人的資源の有効活用や生産性の向上は、警備、設備管理、清掃などのファシリティマネジメントにおいても重要になっています。セコムは、ファシリティマネジメントを提供する大手流通グループ企業と協働して、大型施設の管理・運営の省人化・無人化に取り組み、出入管理や開閉店の一部自動化など、常駐警備業務を省人化するための運用を開始しました。今後は、ファシリティマネジメントにおける新たなビジネスモデルの構築をめざして、これらの取り組みをさらに進めていきます。

●「セコム・サプライチェーンセキュリティ・セレクト」に新ラインアップを追加

近年、食品関連施設では、意図的な異物の混入防止対策など、「食品防御」に関わる取り組みが求められています。そこで、セコムはサプライチェーンに関わる認証等の取得支援サービス「セコム・サプライチェーンセキュリティ・セレクト」の新たなラインアップとして「食品防御」に必要な物理的なセキュリティ対策を「見える化」する「SGS* 食品への意図的な異物混入防御のための物理的対応認証」の取得支援サービスを加えました。同認証を取得した食品関連施設は、物理的なセキュリティ対策の実施状況を、取引先や社会に客観的に示すことで、信頼性の向上につなげることができます。さらに、

国内オンライン・セキュリティシステムの契約先区分

(2019年3月31日現在)



セコム・コントロールセンター

農林水産業者の協同組織を基盤とする全国金融機関と協働して、同認証の普及促進に向けて連携しています。

*SGS・・・スイス・ジュネーブに本拠を置く、世界最大級の検査、検証、試験および認証機関

AI、ドローン、ロボットなど最新テクノロジーの活用

●AIを活用した

「バーチャル警備システム」を開発

日本では、労働力人口の減少を背景に、生産性の向上や省人化がさまざまな分野で求められています。セキュリティ業界も例外ではなく、セキュリティニーズが高まる中、特に常駐警備員が警備を担っている施設では、人手不足や人件費の高騰が懸念されています。そこで、セコムはミラーディスプレイ上に表示された等身大の「バーチャル警備員」が、AIを活用して警備や受付業務を提供する「バーチャル警備システム」を開発しました。「バーチャル警備員」が捉えた映像や周辺の状況は、リアルタイムでご契約施設の防災センターに送信され、必要に応じて常駐警備員が適

切に対応します。このシステムを活用することで、より効率的な人員配置や運用コストの低減が可能になります。

「人」の力と「先進のテクノロジー」を組み合わせることで実現したこのシステムは、セコムが培ってきたセキュリティのノウハウに、大手ガラスメーカー、IT関連企業、大手通信会社の最新技術を融合させて実現したオープンイノベーションの成果です。2020年の実用化に向けて4社の連携を強化し、「安全・安心・快適・便利」な社会を実現すべく取り組んでいきます。

●「セコムロボットX2」の

サービス提供を開始

セコムは、2019年6月より成田国際空港で「セコムロボットX2」によるサービスの提供を開始しました。「セコムロボットX2」は、2005年に販売を開始した「セコムロボットX」の機能をさらに進化させた自律走行型巡回監視ロボットです。セコムは、同空港で常駐警備員による巡回監視や立哨、出入管理などの常駐警備サービスを提供しています。今後は、人とロボットの力が融合した、より高度なセキュリティを提供するとともに効率化を実現し、

常駐警備員の負担軽減だけでなく、労働力人口の減少という社会課題の解決にも貢献していきます。

●ドローンによるスタジアム警備の実証実験に成功

セコムは、大手通信会社とドローン運営会社との協働で、4G (LTE) および人物検知機能に対応したドローンによる、スタジアムでの広域警備の実証実験に成功しました。本実証実験では、ドローンが高い高度から広域監視し、AIを活用した人物検知機能でリアルタイムに不審者を自動検知して、位置情報を特定しました。また、低い高度で巡回監視するドローンが、地図と連動した運航管理システムの指示で不審者のもとへ自動で急行し、監視センサーに警告を発しました。

AIおよび情報提供機能に対応して開発された新たな運航管理システムにより、今後は警備だけでなく、設備点検や災害対策など、ドローンの活躍が期待されるさまざまな分野も視野に入れて実用化していきます。



AIで来訪者への対応が可能
「バーチャル警備システム」



「セコムロボットX2」



スタジアム上空のドローン

■家庭向けセキュリティサービス

家庭向けの主力セキュリティシステム「セコム・ホームセキュリティ NEO」は、外出先からスマートフォンでセット・解除操作ができるほか、家族の外出・帰宅をスマートフォンにプッシュ通知*できるなど、便利な機能が好評で普及が順調に伸びています。「セコム・ホームセキュリティ NEO」は、基本サービスとして防犯・火災監視・非常通報があり、オプションサービスとして救急通報・ガス漏れ監視・安否見守り、さらにIoT機器と接続して利用できるさまざまなコネクテッドサービスがあります。

コネクテッドサービスの第1弾は、リストバンド型のウェアラブル端末を使った健康管理・救急対応サービス「セコム・マイドクターウォッチ」です。例えば、自宅内外を問わず体の動きが一定時間確認できない場合や、突然意識を失って転倒した時に、セコムへ自動で救急通報します。健康管理の機能では、「歩行」「睡眠」「食事」の状態をチェックし、生活改善のアドバイスをスマートフォンで受けることができます。

第2弾の「セコムあんしん宅配ボックス」は、「セコム・ホームセキュリティ」に接続すれば、こじ開け監視に加えて荷物の到着

をスマートフォンに通知でき、不在時でも「安全・安心」に荷物を受け取ることができます。

*プッシュ通知……表示や音で自動的に通知する機能

見守りニーズの高まりに対応

●コミュニケーションロボットと連携して“ゆるやかな見守り”を実現

セコムは、近年の見守りニーズの本格的な顕在化に対応し、コネクテッドサービスの第3弾として、2018年10月に「セコム・ホームセキュリティ」とコミュニケーションロボット「Xperia Hello!」を連携させた新しいセキュリティサービスの提供を開始しました。主な機能には、音声によるセキュリティのセット開始や解除などの操作、お客様の声かけによるセキュリティ状態のディスプレイへの表示、帰宅時や就寝時にセキュリティのセット開始をお勧めする機能などがあります。

同サービスは、セコムが長年培ってきた見守りと緊急対応のノウハウと、ロボットとの会話を楽しめるエンタテインメント性、家族とつながるコミュニケーション機能、顔認識や遠隔画像撮影などによる“ゆる

やかな見守り”機能を連携させることで、新しい安心のスタイルを実現しています。セコムは、「安全・安心」に「楽しさ・便利」を加えたサービスを提供し、お客様の毎日の暮らしを平時も緊急時も切れ目なくずっと見守ります。

●幅広いお客様が利用できる「セコムみまもりホン」を発売

セコムは、新しい見守りサービスとして、2019年4月に「セコムみまもりホン」の販売を開始しました。「セコムみまもりホン」は、端末の表示に従って利用者が安否ボタンを押すと、登録された連絡先へ「安否確認メール」が自動送信されます。安否が確認できない場合は、利用者のご家族などからの要請で緊急対処員が駆けつけます。

救急時は、「セコムみまもりホン」のストラップを引くだけで、セコムへ救急信号が送信され、状況に応じて緊急対処員が駆けつけます。119番通報を行った場合は、あらかじめ登録した救急時の連絡先や持病などの情報を端末に表示し、駆けつけた救急隊員などにその情報を提供することが可能です。セコムは、ホームセキュリティのご契約をしなくても利用できるこのサービスを、幅広いお客様に提供し、高齢者やそのご家族の不安に応えていきます。



「セコム・ホームセキュリティ NEO」



「Xperia Hello!」

Xperia Hello!はソニーモバイルコミュニケーションズ(株)の商品です。



「セコムみまもりホン」

■その他のセキュリティサービス

屋外用位置情報提供システム「ココセコム」の特長は、GPS衛星と携帯電話基地局を使った高度な位置検索システムで、その専用端末を持っている人や装着されている物の位置を、高い精度で特定します。専用端末の位置は、専用のホームページで検索でき、ココセコムオペレーションセンターに電話をして位置検索を依頼することもできます。また、お客様からの要請でオペレーターが緊急対処員を急行させ、必要に応じて警察や消防に通報します。さらに、お客様が身の危険を感じ、専用端末の通報ボタンを押すと、ココセコムオペレーションセンターに緊急通報され、要請があれば緊急対処員が駆けつけます。

「ココセコム」は、子どもの連れ去り防止や高齢者の徘徊対策、自動車やオートバイなどの盗難対策として販売を開始しましたが、その利便性が評価され、次第にサービスの利用対象が拡大し、タクシーやバスの運行管理やATMの盗難対策、従業員

の安全管理、護身用などにも利用されています。

■海外でのセキュリティサービス

セコムは、1978年の台湾進出を皮切りに、13の国と地域でセキュリティサービス事業を展開しています。海外でのセコムのセキュリティサービスの特長は、「セコム方式」の緊急対処サービス付オンライン・セキュリティシステムを、進出先の国や地域に合わせて、カスタマイズしている点です。日本国内と変わらない「セコム方式」による高品質なサービスは、海外のお客様にも高く評価され、普及が堅調に推移しています。

台湾では中興保全科技股份有限公司が、韓国では(株)エスワンが、それぞれの国や地域のセキュリティサービス事業における最大手企業として証券取引所に株式を上場し、オンライン・セキュリティシステム

を中心に多種多様なセキュリティサービスを提供して、業容を拡大しています。

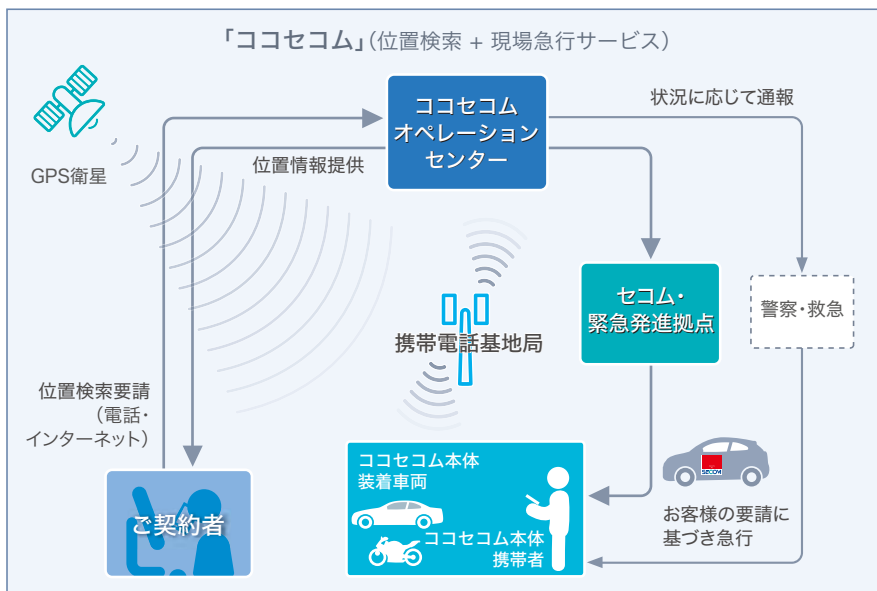
中国では、沿岸部から内陸部までの25都市にセキュリティサービスネットワークを構築しており、事業所向けや家庭向けセキュリティシステムなどの普及が、着実に拡大しています。

経済発展が続く東南アジアでは、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、ミャンマーで、「セコム方式」のオンライン・セキュリティシステムを提供し、普及が進んでいます。アジアの主要都市では、家庭向けセキュリティシステム市場への本格参入を開始し、タイのバンコクではスマートフォン対応の新型ホームセキュリティの販売を始めました。

オーストラリアとニュージーランドでは、大手金融機関などへセキュリティサービスを提供し、お客様の高い評価を得ています。

イギリスでは、セコムPLCが英国全土にセキュリティサービスを提供し、そのサービス品質の高さに定評があります。

海外での協業の取り組みも推進しており、大手流通グループと協働して中国、ベトナム、マレーシアなどの大型商業施設での施設管理・運営の省人化を提案しています。また、タイやマレーシアなどで、AEDの販売を強化しています。



北京京盾 セコム エレクトロニックセキュリティのコントロールセンター

さらに、SI(統合システム)チームを発足し、アジア地域で開発が進む各種大型施設にきめ細かな提案を積極的に行うなど、統合システム事業の拡大を図っています。

2019年2月、セコムは経済成長とともにセキュリティサービス市場の成長余地が大きいトルコに現地財閥グループと合併会社を設立しました。トルコでも、「セコム方式」の高品質なセキュリティサービスを提供していきます。

セコムは、「安全・安心・快適・便利」へのニーズは世界共通であると考えており、世界的にセキュリティ需要が高まる中、今後も進出先でのセコム方式のオンライン・セキュリティシステムの普及や新たなサービスの拡大に取り組んでいきます。また、成長力のある新たな国や地域への進出も検討していきます。

そして、海外でも「ANSHINプラットフォーム」を展開し、「ANSHIN」が世界の共通語となるように活動していきます。

■新たなサービス

●「セキュリロック・スマート」を発売

「セキュリロック・スマート」は、スマートフォンで玄関ドアやエントランスなどの鍵の開け閉めができる出入管理システムです。鍵やカードを使わないため、紛失リスクなどを軽減できることに加えて、操作履歴や施錠・解錠状態をセコムの「セキュアデータセンター」で安全に管理し、“いつ、誰が、スマートフォンから操作したのか”を確認することができます。このシステムを利用すれば、民泊施設やレンタルオフィス、会員制施設などで鍵の受け渡しが不要となり、また一般家庭でも訪問介護などのスタッフが早朝・深夜に鍵の開け閉めでご家族をわずらわせることもなくなります。セコムは、利便性が高く利用範囲も幅広い「セキュリロック・スマート」を積極的に提案しています。

●家庭用AEDのオンラインパッケージサービス「セコム・MyAED」の販売を開始

セコムは、2004年にAEDを消耗品などを適切に管理するレンタル方式で提供する「セコムAEDパッケージサービス」の提供を開始しました。いざという時に確実に

AEDを使用できることが評価され、医療機関や消防機関を除く一般市場で高いシェアを得ています。心臓突然死の多くは自宅で発生していることから、セコムは家族などによるAEDを使った心肺蘇生も重要であると考え、2018年12月に家庭用AEDのオンラインパッケージサービス「セコム・MyAED」の販売を開始しました。AEDがいつでも使えるように、機器の故障や消耗品の交換時期などを、セコムがオンラインで見守ります。セコムは、法人に加えて家庭へのAEDの普及も推進することで、“AEDがいつでも、だれでも使える社会”の実現に取り組んでいます。



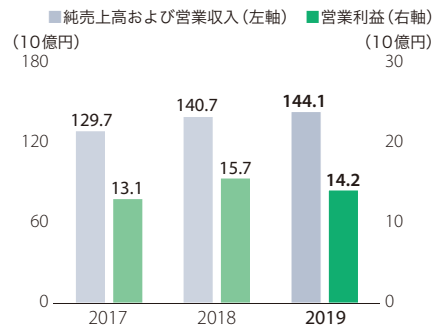
新たにトルコに進出



「セキュリロック・スマート」



「セコム・MyAED」



主な取り組み

社会の発展とともに、防災ニーズも多様化・高度化している中、国内防災業界大手2社である能美防災とニッタンは、研究開発から企画、設計、機器の製造、メンテナンスまで一貫して提供できる強みを活かして、お客様のニーズに合致した最新・最適な防災システムを提供しています。

自動火災報知設備の分野では、新築市場で積極的に営業活動を行う一方、設備の老朽化で更新時期を迎えるリニューアル市場では、これまでの豊富な施工実績とお客様との信頼関係を生かして、提案営業に邁進しました。消火設備の分野では、大型案件の受注が順調に推移しました。

●中・大規模建物用の「複合GR型システム」を発売

能美防災は、中・大規模商業ビルなどに最適な自動火災報知設備「複合GR型システム R-26C」を発売しました。このシステムは、火災受信機に内蔵されるシステムユニットを業界初の最大20系統まで拡張することで、1台の火災受信機に従来よりも多くの機器が接続できるため、大規模建物にも余裕を持ったシステム構築ができます。また、見やすい15インチの大画面を搭載するなど、操作性も向上し、ビルの火元責任者から好評を得ています。今後、能美防災の主力商品のひとつとして、積極的に提案していきます。



「複合GR型システム R-26C」(能美防災)

●夏場の列車の安定運行を実現する「レールミスト」の運用を開始

能美防災は、夏場の温度上昇によるレールの伸長を「ドライミスト*」の冷却効果で抑制する「レールミスト」を東京の地下鉄駅(地上部分)に設置し、運用を開始しました。「レールミスト」は、軌道を切り換える「転てつ機」という部品を冷却することで、不具合(ロック狂い)を防止する効果があり、夏場の列車の安定運行に寄与します。今後は、全国の鉄道各社に「レールミスト」の実績をアピールして、設置の普及に取り組んでいきます。

*ドライミスト……水道水を微細な霧の状態にして噴射し、蒸散する際の気化熱の吸収を利用して地上の局所を2～3℃冷却する装置。

●緊急時の迅速な対応が可能な「地域防災情報ネットワークシステム」を発売

能美防災は、火災や設備異常などをセンサーが検知して指定した宛先にメールなどで配信することにより、緊急時の迅速な対応を可能にする新しい情報伝達システム「地域防災情報ネットワークシステム」を発売しました。今後も、住宅地、文化財建造物、工場・プラントなど、さまざまな地域で活用できるこのシステムを普及させることで、地域の「安全・安心」を守っていきます。



「レールミスト」(能美防災)

● 宿泊施設向けに小型「光学式スポット型感知器 (2波長式)」を発売

煙と湯気を識別して感知できる「光学式スポット型感知器 (2波長式)」は、ホテルや寮など多くの宿泊施設に利用されています。近年は、ホテルなどのインテリアを重視するお客様から、客室の感知器にもデザイン性が求められていました。ニッタンは、小型化することで室内空間と調和する「光学式スポット型感知器 (2波長式)」を発売し、宿泊施設のニーズに応える感知器として販売が伸びています。

● 大規模施設向けに次世代防災システムを開発

ニッタンは、火災監視システムと人や物の位置情報を一体化させた、大規模施設向けの次世代防災システムを開発しています。このシステムは、火災の発生場所が直ちに分かると同時に、人や物の場所もリアルタイムで把握することで適切な避難誘導を可能にし、また消防に的確な情報を提供することで救命活動にも役立ちます。緊急時以外は、それらの位置情報を活用することにより、人や物の最適な管理を実現します。

また複数の施設でこれまで行った次世代防災システムの実証実験では、火災などの災害時における円滑なオペレーションを期待する声など、さまざまなニーズが顕著になりました。これらのニーズに応えるべく、さらなる改良を進めて早期の発売をめざします。

● 海外市場で拡販を推進

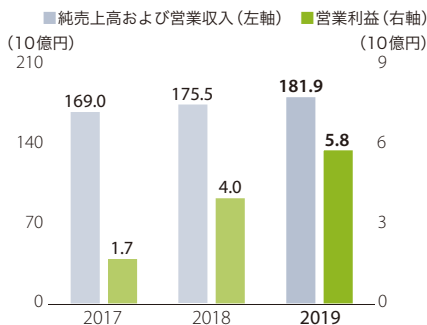
ニッタンは、イギリスの現地法人とベトナムの工場を拠点に、欧米のUL規格やEN規格などに準拠した製品を、各国の政府機関、銀行、高層ビル、ホテルなどに提供しています。当期は、防災システムの需要が高まる東南アジア、南西アジア、アフリカの新興国で拡販に注力しました。ベトナムでは工場の生産・供給体制を拡充し、スウェーデンとノルウェーでは防災システムの販売が好調に推移しました。



「光学式スポット型感知器」(ニッタン)



海外の重要施設にも防災システムを納入(ニッタン)



ルタイムでセコムのデータセンターが収集・蓄積し、医師や看護師、介護士などの在宅医療の従事者が遠隔で確認し、適切な対応につなげることができます。さらに、心拍数が上下限を超えた時に指定した通知先にメールするオートアラート機能や、在宅患者様とのビデオ通話なども可能です。セコムは、今後もICTを活用したサービスを拡充していきます。

● 国立循環器病研究センターと包括的連携協定を締結

セコムは、国立研究開発法人国立循環器病研究センターが進める産学官が連携したオープンイノベーションで、健康・医療サービスの向上を図るための包括的連携協定を締結しました。国立循環器病研究センターは、循環器領域における世界トップレベルの医療・研究の実現に取り組んでおり、最先端医療・医療技術開発を進める共同研究拠点「オープンイノベーションセンター」を開設しています。セコムは、包括的連携協定に基づき同センターで、循環器疾患分野の予防・医療・研究を対象に、人々の健康を支援する地域医療連携モデルの構築に取り組んでいきます。

主な取り組み

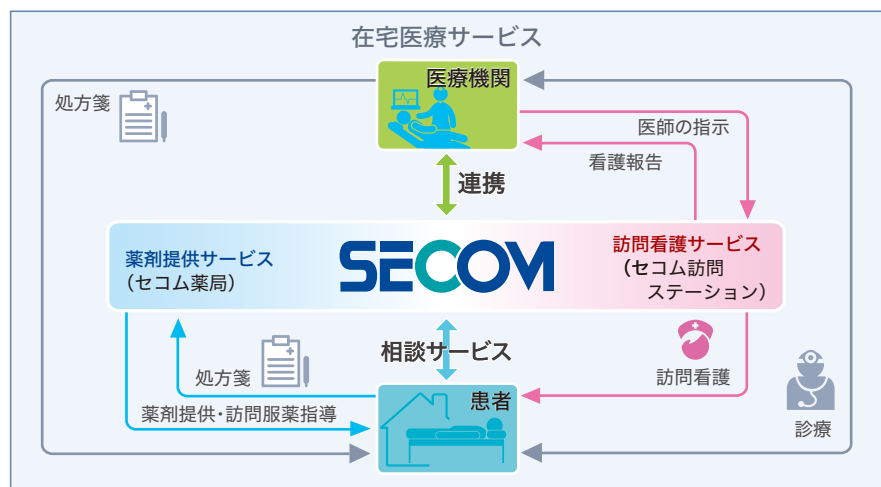
セコムは、医療や健康のサービスも提供して初めて真の「安全・安心」をもたらすことができると考え、「医療」から「介護」「健康・予防」まで、ICTを活用した切れ目のないメディカルサービスを提供しています。

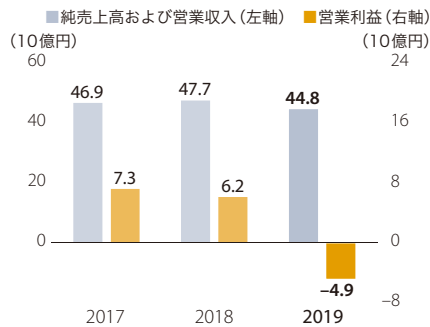
メディカルサービスのひとつとして、セコムはご利用者一人ひとりが安心してご自宅で療養できるように、在宅医療サービスを提供しています。その一つである「薬剤提供サービス」は、院外処方箋の受付に加え、在宅で療養中の患者様に必要な薬剤や、中心静脈栄養輸液などの輸液ラインや注射器といった医材料を提供し、また患者様のさまざまなご相談にも応じています。「訪問看護サービス」は、全国36カ所の「セコム訪問看護ステーション」から看護師が患者様のご自宅に訪問して、主治医の指示に基づいた医療処置などを行い、在宅での療養生活を支援しています。

このほかにも、国内提携病院の運営支援や医療機器などの販売、シニアレジデンスの運営、介護サービスの提供、電子カルテなどICTサービスの提供、インドの総合病院の運営などを展開し、それぞれの拡充を図っています。

● 「セコム Vitalook」の提供を開始

日本では、重度の要介護状態になっても、住み慣れた地域で療養できるように、厚生労働省は在宅医療を推進しています。一方、在宅医療は医師が患者様のご自宅に訪問して行うため、急変時の対応などで医師に負担がかかります。セコムは、在宅診療医の負担軽減と診療の質の向上に貢献するため、在宅医療で培ったノウハウに加え、ICTやセコムの事業基盤を活用した遠隔診療支援プラットフォーム「セコム Vitalook (バイタルック)」の提供を開始しました。このサービスは、在宅患者様の心電図・心拍数・体温・血圧・体重・動脈血酸素飽和度などの生体データをリア





主な取り組み

セコムは、犯罪や火災を未然に防ぐ「事前の備え」のセキュリティサービスと、被害にあった時の損失を補償する「事後の備え」の損害保険で、切れ目のない「安全・安心」な生活が実現できると考え、セコムならではの保険を提供しています。販売にあたっては、多様な販売チャネルを通じて積極的な営業活動を展開し、一層の拡販に努めています。

●がんの入院治療費を全額補償する 「自由診療保険メディコム」

「自由診療保険メディコム」は、自由診療・先進医療・公的保険診療を問わず、がんの入院治療費を全額補償することが特長で、ご加入者は経済的な負担を気にせずにご加入者ががん治療に専念できます。また、通院治療の重要性が高まっているがん治療の実態に対応して、通院で自己負担した治療費用を5年ごとに最大1,000万円まで補償します。このような特長が目ざされて、「自由診療保険メディコム」の契約数は着実に増加しています。

●セコムならではの 割引が特長の火災保険

ご家庭向け火災保険「セコム安心マイカーホーム保険」は、盗難や火災のリスクが軽減されるホームセキュリティのお客様に対して、お得な保険料で保険をご提供するのが特長です。企業向けには、オンライン・セキュリティシステムを導入している企業を対象に、リスク軽減効果を保険料に反映させた「火災保険セキュリティ割引」を販売しています。セコムのホームセキュリティや企業向けオンライン・セキュリティシステムを導入する際に、これらの火災保険を併せて契約するお客様が増加し



セコム損害保険(株)本店ビル

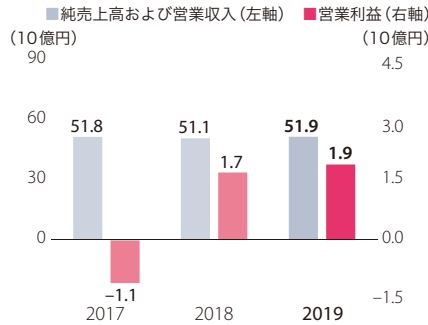
ており、セキュリティシステムの普及が拡大するとともに、さらなる拡販に取り組んでいます。

●緊急対応員が駆けつける 「セコム安心マイカー保険」

「セコム安心マイカー保険」は、24時間365日、交通事故の現場にセコムの緊急対応員が駆けつけ、お客様の支援を行う「現場急行サービス」が特長です。事故現場では、緊急対応員による警察や救急への連絡、事故現場の写真撮影などの支援がお客様から好評を得ています。



「セコム安心マイカー保険」の現場急行サービス



主な取り組み

パスコは、人工衛星、航空機、ドローン、専用車両、船舶などに搭載した各種センサーを駆使して収集した国内外の地理情報に加工・処理・解析を施し、社会課題の解決に向けた地理空間情報サービスを提供しています。本セグメントは、行政機関向けの国内公共部門、民間企業向けの国内民間部門、諸外国向けの海外部門で構成され、その純売上高および営業収入の約8割は、国内公共部門が占めています。

当期、国内公共部門は、気候変動に伴う災害リスクに対する国土強靱化への対応を推進しました。特に、土砂災害危険地域の評価と対策などを行う防災・減災関連事業、3次元計測技術による河川管理の高度化とリスク対策を行う河川関連事業のほか、公共インフラの老朽化対策として道路関連事業などを推進しました。また、



北海道胆振東部地震被災地における航空写真撮影

森林の適切な管理と地域産業振興、水道事業の持続的な運営支援などにも取り組みました。国内民間部門では、物流業界の課題解決に向けた取り組みのほか、工事現場の生産性向上に寄与する新たな技術開発やサービスの充実を図りました。海外部門においては、海外子会社の市場環境に即した組織改編を図る一方、独立行政法人国際協力機構（JICA）の政府開発援助（ODA）業務の受注拡大に努めました。

今後は特に2005年から本格化した人工衛星の活用ビジネスにおける実績とノウハウを活かし、民間主導の新たな衛星活用ビジネスの創出に取り組んでいきます。

●モバイルナビゲーション提供会社と物流事業分野で業務提携

日本の物流は、ネットショッピングの増加や消費者ニーズの多様化によって拡大・複雑化しています。一方、物流業界では労働人口の減少や労働時間の適正化、温室効果ガスの排出規制など、さまざまな課題を抱えています。パスコは、モバイルナビゲーション提供会社と業務提携し、輸配送業務の効率化と高度化を実現するサービスの提供を開始しました。

このサービスは、配送先に効率よく配送する配車計画の立案や、その計画に基づいて正確な到着時間予測で輸配送を支援するモバイルナビゲーションまでワンストップで提供し、配送業務の効率化を支援します。

●ドローン搭載型グリーンレーザースキャナの販売を開始

パスコは、ドローン搭載型のグリーンレーザースキャナの実用化研究に成功し、2019年3月に販売権を取得しました。グリーンレーザースキャナを利用することにより、地上部と同時に水底（河床や海底）の3次元地形を計測できるので、陸域と水域を統合した高精度な3次元データを効率的に取得することが可能です。

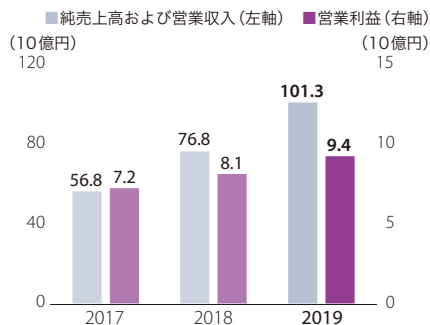
2020年3月期からはグリーンレーザースキャナの販売、操縦・計測作業の支援、データマネジメント用ソフトウェアの提供、3次元データの加工・解析サービスなどを総合的に支援する測量サービス事業を開始し、河川管理やi-Construction^{*}分野での効率化・高精度化を支援しています。

^{*}i-Construction・・・ICTの活用で規格の標準化や工事の平準化を図り、労働力不足を抱える建設・土木工事現場の安全性や生産性向上を目指す、国土交通省が推進している取り組み。



ドローン搭載型グリーンレーザースキャナ

BPO・ICT事業



主な取り組み

BPO・ICT事業には、お客様のさまざまな課題を「安全・安心・快適・便利」なICTサービスで解決するセコムトラストシステムズ(株)、国内最大級のデータセンター事業会社であるアット東京、コンタクトセンターやバックオフィス業務を担うBPOサービスを提供するTMJがあります。

●大規模災害対策・情報セキュリティ・クラウドサービス

セコムトラストシステムズは、災害に対する事前準備から初動対応、復旧まで、お客様のBCP(事業継続計画)を支援するさまざまな大規模災害対策サービスを提供しています。国内有数の危機管理サービスとなっている「セコム安否確認サービス」は、地震・災害・インフラ障害などの発生時に社員・家族の安否確認や事業所の被災状況を、速やかに把握します。また、「セコム安否確認サービスSCM」では、取引先担当者の安否確認と、工場などの被災状況を迅速に把握し、それらの情報をもとに、業務の正常化に向けた対策を実行することができます。これらの大規模災害

対策サービスは、その有効性と使い易さが高く評価され、大企業や官公庁などのご契約が増加を続けており、約7,300社で約670万人がご利用中です。

また、災害やサイバー攻撃、システム障害などに備えて、情報セキュリティのプロによる事前の診断・対策から監視・運用、事故発生時の対処まで行う、包括的な情報セキュリティサービスも提供しています。さらに、暗号資産に対する安全な「ウォレット*運用サービス」では、セコムの堅牢な「セキュアデータセンター」と、電子認証局の運営で培った安全な電子鍵運用のノウハウを駆使したサービスを提供しており、さまざまな企業の注目を集めています。

その他には、お客様の業務プロセスをICTで効率化するクラウドサービスも提供しています。「セコムあんしんエコ文書サービス」は、文書やプロセスの電子化により、業務効率の大幅な向上とコストの削減を実現します。「セコムあんしん勤怠管理サービス」は、出入管理を一体化したオンライン・セキュリティシステム「セコムLX」と連携して、お客様の勤怠管理の効率化を可能にします。勤務シフト自動作成サービス「セコムかんたんシフトスケジュール」は、AIを使って勤務シフト表の自動作成と応援候補スタッフの推奨を行い、いつでも・どこからでもシフト表を確認することができます。このサービスは、飲食・小売業界をはじめさまざまな業種から問い合わせを受けています。

*ウォレット……暗号資産の取引に必須である電子鍵を管理する手法のこと。



「リアルタイム災害情報サービス」で情報の収集・解析を行う
「セコムあんしん情報センター」

●データセンター

近年は、クラウドサービスやスマートフォンの普及、AI・IoTの活用などで、最新テクノロジーを使った多くの新サービスが次々と誕生しています。企業や個人はデータセンターとつながったそれらのサービスを意識せずに利用しており、データセンターは今や重要な社会インフラとなっています。

アット東京は、データセンター事業者としての長年の経験や運用ノウハウを活かして、高品質で信頼性の高い世界最高水準のデータセンターサービスを24時間365日切れ目なく提供し、多様なお客様のニーズに応えています。データセンター市場は、クラウドサービスなどを利用するお客様の増加で拡大を続けていますが、アット東京は、システムの停止が社会に大きな影響を与える企業やグローバル企業など、数多くのお客様にご活用いただいています。

アット東京は、幅広いサービスプロバイダーなどへの優れた接続性を強みに「つづく、つながる、そして生まれる。ここは共

創型データセンター」をめざし、高度情報社会の多様なサービスの実現に必要なプラットフォームとしてのデータセンター事業を展開していきます。

●BPOサービス

近年、労働力人口の減少からさまざまな業界で人手不足が深刻化しており、旺盛な「誰かに頼みたい」需要を背景に、BPOサービスが伸長しています。

TMJは、金融業や幅広い業界大手の企業に、お客様に寄り添ったコンタクトセンターやバックオフィス業務を提供し、その高品質なサービスが高い評価を得ています。また、QCサークル活動などでサービス品質の改善を続けることで、ご契約の長期継続に結びつけています。

そのような中、TMJは企業の電話対応を誰かに頼みたいというニーズの高まりを受け、お客様の電話対応を代行する「あんしん電話当番サービス」の提供を開始しました。働き方改革の取り組みが各企業で進む中、このサービスを利用することによ

り、電話窓口に対応する事務部門の生産性向上を図ることができます。

さらにTMJは、コンタクトセンターにおける「早く解決したい」「気軽に相談したい」需要に応えるためのAI活用や、「正確」で「効率的」なバックオフィス業務の提供に向けた作業の自動化などを加速させています。

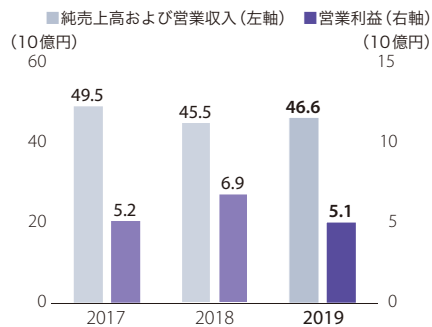
今後も、最新のテクノロジーを味方につけて、サービス全般のCX(顧客経験価値)向上とDX(デジタルトランスフォーメーション)を実現して、お客様に定評のある高品質なBPOサービスを提供していきます。



セコムのデータセンター



(株)TMJのコンタクトセンター



主な取り組み

●不動産開発・販売事業

セコムは「安全・安心」と「信頼」をコンセプトに、セコムならではの高度なセキュリティを実現したマンション「グローリオレジデンス」シリーズや、都市部のセキュリティ・コンパクトマンション「グローリオコンパクト」シリーズを、開発・分譲しています。また、賃貸マンション「グローリオシェル」シリーズや中古マンションを改修して機能を高めたりノベーションマンションも販売しています。今後もセコムは、住まいに関する「安全・安心」のパートナーとして、お客様の多様なニーズに対応していきます。

●不動産賃貸事業

東京都心部の好立地にビル賃貸事業を展開しており、充実したメンテナンスと管理の良さが好評で、さまざまな業種・形態のお客様にご利用いただいています。

●建設設備工事

建設設備工事では、建物の空気調和・給排水衛生・電気といった設備の設計・施工からメンテナンスまで一貫して提供する体制を整えて、お客様に付加価値の高いサービスを提供しています。

●ホームサービス事業

「セコム・ホームサービス」は、「セコム・ホームセキュリティ」をご契約のお客様を対象にした生活支援サービスです。家事のお手伝い、不在時の見回りなど、暮らしの中のお困りごとを解決する幅広いサービスを提供して、お客様の多様なニーズにきめ細かく応えています。



「グローリオレジデンス湘南平塚」



「セコム・ホームサービス」